



全国高校生

MY PROJECT
AWARD 2020

マイプロジェクトアワード



Tell Your Own Drama MY PROJECT AWARD 2020

マイプロ校内選考会 in 錦丘 パンフレット

2020年11月6日(金)

【主催】石川県立金沢錦丘高等学校

【協力】全国高校生マイプロジェクト実行委員会

メッセージ

本会は、
「マイプロジェクトアワード」という外部での表現の場につながる機会提供というだけでなく、発表者にとっては緊張感あるアワード形式での「リフレクションの場」であり、観覧者にとっては本校で先行して探究しているグループに「刺激を得る場」でもあります。積極的に「自分にとっての学びにつながる」ような濃密な時間を過ごしてください。
課題研究担当として、
本校の「課題研究」が、みんなにとって「自分のやりたいこと」を明確化する一助となっしてほしいです。「アクション」を起こしているみんなの姿はとても輝いていて強さを感じます。だからこそ、この会も含めて、これからもみんなと何がどうできるのかを考えていきたいと思ひます。

本日の流れ

→最初の導入とクローズセッションは、Zoomを用いて実施。(片方の部屋から中継)
発表は、3グループずつ「化学講義室」と「物理講義室」に分かれて実施。

タイムライン		詳細内容
16:00~16:15 (15分)	導入	・会のコンセプトの把握と評価員の紹介(5分) ・アイスブレイク→自己紹介&今の気持ちの共有(10分)
16:15~16:30 (15分)	発表1	・3グループずつ2手に分かれ、発表を行う。 →次の流れで、1グループ15分間で行う。 ①「自分たちのアクション」についての3分の動画での発表 ②「自分たちの学び」についての3分の口頭での発表 ③評価員からの質疑応答7分 ④発表者へのメッセージカードの記入2分(渡すのは最後にまとめて)
16:30~16:45 (15分)	発表2	
16:45~17:00 (15分)	発表3	
17:00~17:15 (15分)	フィードバック	
17:15~17:30 (15分)	クローズセッション	・発表者、観覧者が会の中で学んだこと、気づいたこと、感じたことを共有しあい、新たなアクションへとつなげて終わる。

注意事項

- ・携帯電話はマナーモードにしてください。会場内での通話は禁止といたします。
- ・発表中の私語は謹んでください。
- ・発表者に対する拍手やメッセージカードの記入にご協力ください。

本会の位置づけ

本会は「全国高校生マイプロジェクトアワード」との連携を行っています。マイプロジェクトは、身の回りの課題をテーマにプロジェクトを立ち上げ、実行することを通して学ぶ実践型探究学習です。マイプロジェクトアワードでは、マイプロジェクトを実行した全国の高校生が、地域や学校といった枠組みを超えて一堂に会し、活動を発表します。本会で選出された代表プロジェクトは、各地から選出されたプロジェクト高校生が集う次のステージ（マイプロジェクトアワード地域Summit）に進みます。

地域Summit



2018年度関西大会

地域ブロック・都道府県単位で開催。

全国Summit



2018年度全国Summit

地域Summitで選ばれた48プロジェクトが集結、文部科学大臣賞(最高賞)を授与。

評価基準

評価者は下記の観点で、地域Summitへの招待プロジェクトを選びます。

前提

アクション（活動実践）

成功・失敗にかかわらず、仮説検証を行ってきたか

1

オーナーシップ（主体性）

- ・誰かにやらされるのではなく、自ら意志を持って挑戦してきたか
- ・考えたり調べたりするだけにとどまらず、試行錯誤を繰り返してきたか

2

コ・クリエーション（協働性）

- ・多様な人たちと対話し、協力しながら取り組んできたか
- ・独りよがりではなく周囲に好影響を与え、価値を創りだしてきたか

3

ラーニング（探究性）

- ・実現したい未来に向け、問いや仮説を深め続ける姿勢があったか
- ・結果的に、目指す未来や本質に迫る問いや仮説に近づけているか
- ・プロジェクトを通じて、学びを次へ活かそうとしているか

発表の流れ

発表は以下の流れで行われます。

口頭発表の部分は3分を過ぎて30秒が経つと、強制的に発表終了となりますのでご注意ください。



発表グループ/評価者紹介

グループA（化学講義室で）

運営 3年生 川田瑛翔&小林留羽空

評価者：松田 淑子 様（金沢大学大学院教職実践研究科/教授）
堀 義明 様（石川県立金沢錦丘高等学校/校長）
3年生 小林 隼輔&片岡 鈴々

発表プロジェクト：

- ①「伏見台商店街の活性化」
- ②「世界初！？オンライン部活動を創る！」
- ③「受験生応援弁当企画引き継いでみた」

グループB（物理講義室で）

運営 3年生 坂下陽介&高田壮基

評価者：仁志出 憲聖 様（株式会社ガクトラボ/代表取締役）
三藤 加代子 様（石川県立金沢錦丘高等学校/副校長）
3年生 羽柴 奏子&山口 陸生

発表プロジェクト：

- ①「スパッと伝わるSNSでの宣伝とは?!」
- ②「生活の中の小説の存在」
- ③「目を奪われる『イラスト』」